

## R7校内研究 算数サークル

---

算数の授業における「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」について

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

---

# 1 算数の授業における 研究主題の目指す児童像

(令和6年度の研究より)

「**試行錯誤しながら、粘り強く** 学習に取り組む児童の育成  
～自分で考え、自分で決める～」

---

「**試行錯誤しながら、粘り強く**」とは

- 問題や課題に対してどのような既習事項が使えるかを考える。
- 様々な解法で取り組み、それらの共通点や相違点に気づき比較しながらよりよい解法を導き出す。

(令和6年度の研究より)

「試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成  
～自分で考え、自分で決める～」

---

## 「自分で考え」とは

- 課題を解決するために見通しをもってどの解法で解決するかを考える。
- 個の学びだけでなく、友達の考えを取り入れながら、自分の学びを広げたり深めたりする。

(令和6年度の研究より)

「試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成  
～自分で考え、自分で決める～」

---

「自分で決める」とは

- いくつかある解法の中からどれが使えるのかを考えて取り組む。
- 自分の課題や課題への取り組み方や、目標を決める。

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

---

## 2 算数の授業改善の ポイント

## ①学習内容と学び方を意識した授業

- ・教師が学習指導要領の指導内容・系統性を意識した授業
- ・児童が主体的に学習に取り組む授業

児童が疑問に思う 児童が気付く 児童が理解する

## ②単元計画の工夫

- ・単元内で軽重をつけ時数を確保
- ・基礎基本の確実な定着
- ・応用発展的な問題の開発

## ③個別最適な学びと協働的な学び

- ・ICTの効果的な活用
- ・学びのかたち(個人・ペア・グループ)

## ④算数の学びを実生活に結び付ける

- ・授業と生活の関連(問題場面の設定)
- ・身に付けた力を実生活でどう生かすか、どう生かせるか
- ・数学的な見方、考え方を育てる

# 今年のテーマ

見通しをもち、あきらめずに色々とやってみる

～よりよい考えをめざして～

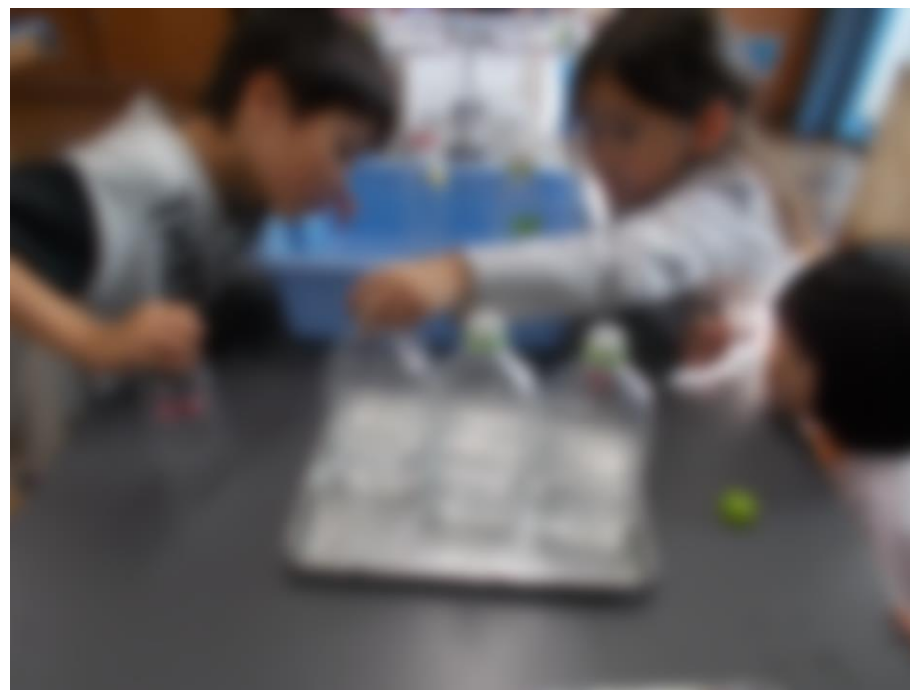
具体物を使って活動

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

---

### 3 研究授業のまとめ (成果と課題)

- 
- 日 時:令和7年10月17日(金)第5校時
  - 授業者:渡邊 裕太
  - 単元名:どちらがおおい



# 研究主題との関わり

## 手立て①

日常生活の中での具体的な場面を、実物やコップなどの具体物を用いて想起させることで、児童に問題場面をイメージしやすくしたり、必要感をもって問題解決に取り組んだりできるようにする。また、課題を立てていく中で、既習の学習を通して解決できないか見通しが立てられるようにする。

## 手立て②

様々な方法で試していく中で、比較方法が一つではないことに気付けるようにする。また、友達との関わりの中で、新しい考え方にも触れて行けるようにする。

## 手立て③

様々な容器を使い、水のかさを比較するためにはどのように比べることが良いか考えられるようにする。また、比較方法ごとにどのような良い点があるかに気付けるようにする。

## ○成果

---

- 今までの学習から新しい方法を考える  
→入れ替えればできる。でも3つになると  
難しい(課題の設定)
- 自分の方法を伝える

## ●課題

---

- 予想と理由を言えるように
- 結果だけではなく、過程が見とれるような工夫

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

---

## 4 算数科における カリマネの視点

# ①主体性

実生活に沿った問題から問いを見出す

⇒学ぶ目的に気づき、「解いてみたい」を引き出す

# ②表現

図・式・表・言葉等、自分の考えをもっとも伝えやすい方法を選択する

⇒思考を整理し、相手に伝える力が身に付く

# ③試行錯誤

正解を出すだけでなく、別解や効率的な方法を求める・具体物を使って、「やってみる」

⇒粘り強く学習に取り組む力の向上

## ④コミュニケーション

「誰でもわかるように」表現(言葉・図など)を工夫して伝える  
相手の考えを引き出す・補う・深める問いかけ、関わり合い

⇒対話力の向上

## ⑤チームワーク

友達と知恵を出し合って解決

多様な考えを組み合わせる

⇒クラス全体のチームワークの向上

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

---

## 5 まとめ

算数嫌いをつくらない！

算数科は積み重なっていく教科

→「粘り強く」学習に取り組み、各学年の学習事項を押さえることが必要

低学年は特に、具体物を操作することが大切。

- ・日常生活との結び付きが分かり、学習への必要感が生まれる
- ・数量感覚が身につく